
Dear...

小羽 朔夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dear...

【Nコード】

N7653D

【作者名】

小羽 朔夜

【あらすじ】

明日は卒業式です。ありがとう、さようなら。貴方に、贈ります。

ねえ、貴方は幸せだった？

貴方にとつても今までは幸福な日々だった？

けして、良いことばかりじゃなかったけれど。辛いことだってあった筈だけれど。

貴方が大好きだったよ。

柔らかく微笑んだ目許も、よくまわる愉しげな口許も、固く引き締めた横顔も。

器用な手、腕を振る仕草も。

頼りがいのある背中も。脚を組み直す些細な動作も。

全てが好きで、抱きつきたいって衝動に駆られた私を貴方は知らないでしょう？

泣いた私を慰めたのも、怠慢を厳しく戒めたのも、満面の笑みと共に褒め称えてくれたのも、全部貴方の言葉でした。それはまさしく、私の道標に等しかった。

バカ騒ぎしたこともあったね。他には何も見えなくて、そればかり追いかけてた。そして、後でバカだったよねって笑うんだよね。

無理して、辛い表情を浮かべてたのも知ってた。私は少しは力になれていたかなあ。ずっと貴方の味方でいようとあの時思ったんだよ。会えない時、どうしても貴方の存在が嘘じゃないって確かめたくて

電話やメールしたら下らない話に付き合ってくれたよね。それがどんなに私の救いになったかなんて貴方は知らないでしょ。

ねえ。離れたくないよ。

まだ、貴方とやりたいこといっぱいあったんだよ。早すぎるよ。

カーテン越しの朝日、夕闇に染まる景色。

図書館から見えた空、中庭から望む校舎。

貴方の好きだったコト。嫌いだったモノ。

そんな何気ない一時が好きだったから。それが心に触れるたびに貴方を想うよ。

時には私を思い出して。ずっと幸せでいて。

たまには思い出話するのも良いよね。無理はしないでね。

ねえ。寂しくて仕方ないよ。

せめて明日は貴方は笑っていて。笑顔を覚えておけるように。

弱くてごめんね。明日だけは空が泣いても許して。風が纏いついたら抱き締めて。

次会う時は笑って貴方の幸せを願うから。

今まで、ありがとう。大好きだよ。

（後書き）

閏年の、珍しいこの日に書き上げたかったです。

いつも支えてくれていた彼、彼女に幸せが訪れますよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7653d/>

Dear...

2011年1月13日00時12分発行